児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　　６年　　２月　　１４日　　事業所名　Roselle Association CLUB II

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		どの訓練室も必要な広さを設けている	
	2	職員の配置数は適切であるか	6		児童発達支援管理責任者１人、児童指導員2人以上配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6			配慮が必要な児童を受け入れる場合はその都度対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		午前中、児童がいない時間を活用して環境を整えている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6		目標を設定し取り組んでいる	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		評価表を参考に会議を持ち改善に役立てている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		会社のHPにて公表している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6		社内実地指導を毎年行い、指導内容を参考に業務改善に努めている	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		委員会を設立し、職員の資質向上につなげている	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		サービス計画を作成する際は、職員会議を開き　計画書の質の向上に取り組んでいる	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		えいぶるノートの情報を活用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		ガイドラインの読み合わせを行い内容は確認できている。児童発達支援管理責任者はガイドラインに沿った計画書を作成している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		計画書も会議を行いチームで支援内容を確認しながら設定している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		毎朝ミーティングを行い、課題の見直しプログラムの改善などチームで話し合う場面を設定している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		曜日に応じて課題を設定したプログラムを行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	6		曜日に応じて課題を設定したプログラムを行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		毎朝ブリーフィングを実施している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか	6		朝のブリーフィングで振り返りを行いステップ記録や、業務日誌にも記録している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		記録の他にプログラムの動画も撮影し振り返り、話し合いを行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		計画書作成の1ヶ月前にモニタリングを行い計画書の更新を行っている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		計画書作成の1ヶ月前にモニタリングを行い計画書の更新を行っている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		相談支援事業所などと連携し情報共有を図っている。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			現在は医療的ケアの必要な児童なし。	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			現在は医療的ケアの必要な児童なし。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		担当者会議に参加し、情報共有を行っている。相談支援事業所との連携をとっている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		担当者会議に参加し、情報共有を行っている。相談支援事業所との連携をとっている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		外部研修を受講し職員に伝達研修などで職員と共有している。	各機関との連携を深めていきたい

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6		地域の児童館や体育館を利用したり 戸外活動にて関わる機会は多い			
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		にこキッズ連絡会に参加している			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		送迎時に活動時の情報を伝えたり 利用日誌などで情報共有しています。			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っているか	6		送迎時に相談する機会がある。			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		見学時・送迎時に説明を行っている。			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		ねらい（目標）や、支援内容を 説明し同意を得ている。			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		事業所の専用携帯にて相談しやすいように しています。			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			年に一度保護者会 を企画している	事業所単位で保護者会を企画し、保護者様に とって風通しの良い事業所を目指していきます		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		苦情申出書をもとに情報共有をし 電話対応など迅速に行っていきます。			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		月に一度便りを 配布している			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		鍵のついた書庫に書類は保管している。			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		管理者をはじめ、職員間で情報共有 しながら配慮しています。			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			コロナも落ち着き自治会の行事にも イベントの際に参加しています。	デイ側も夏祭りなどのイベントを企画し。招待できるように していきたいと思っています。		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		事務室に各種マニュアルを作成し 保管しています。			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		年２回避難訓練を 行っている			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		アレルギー情報など 児童情報をまとめている			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		アレルギー情報など 児童情報をまとめている			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		委員会にて事例検討研修を行っている			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		事業所内研修、県・市主催の研修に 参加しています。			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		身体拘束は行っていませんが、マニュアルを 作成し、準備しています。			
	○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。							